



ハイブリット車の整備を行う久留米職業訓練校を訪問



国と福岡県のつなぎ役として国会を訪問



公民館のイベントに若い世代の人と共に参加



きれいな街づくりのために地域の清掃活動に参加



日本一の九州電力八丁原地熱発電所(大分)を視察



親力団のいない街をめざして街頭行進を行う



企業や団体で講師として政治を解りやすく説明



樋井川のいかだ祭りには審査員として参加



地域の体育祭に選手として競技に参加



城南区内の各公民館で定例県政報告会を実施中



日米議連の事務局長として在福岡アメリカ領事と握手



県議会景気・雇用特別委員会の委員長として挨拶

地域の声を県政に活かす!

福岡県議会議員(城南区)

もりやまさ と  
守谷正人

MORIYA REPORT

県政報告 2011.11 Vol.11



## 東北被災地訪問

8月に東日本大震災で被害を受けた宮城県の石巻市、仙台市、東松島市、女川町を訪問しました。福岡県の職員が派遣されている東松島市では義援金を直接市長に渡し、市長からは震災被害の状況や復興への計画等を聞か



東松島市長に直接義援金を渡しました

せてもらいました。現在、福岡県は職員を派遣し被災自治体の行政機能支援、避難所における健康相談、心のケア、下水道被災状況調査、児童相談所の業務支援などの支援を行っており、今後も、道路、河川、公共建築物、港湾、漁港等の災害普及業を中心に職員を派遣していきます。被災地の早期復興のために、福岡県としても引き続き積極的に支援してまいります。

## 一般会計約33億円の補正予算案を可決 ～2011年度予算総額は1兆6159億6000万円に～

9月県議会は9月20日に開会、一般会計で約33億円の補正予算などを可決し10月7日に閉会しました。今回の補正予算は、国の第2次補正予算の成立を受けたもので、内容は、国と都道府県が出資する「被災者生活再建支援基金」への追加拠出32億円、放射線量を測定するための「モニタリングポスト」の増設1億円等を予算措置しました。また条例では、暴力団からの青少年の被害防止等のため、罰則を強化した「暴力団排除条例」の改正などを行ったところです。



### PROFILE もりやまさ と

福岡県議会議員  
昭和40年 6月21日/福岡市生まれ  
昭和59年 3月/西南学院高等学校卒業  
平成 元年 3月/西南学院大学商学部商学科卒業  
平成 元年 4月/近畿日本ツーリスト(株)入社  
平成 8年10月/衆議院議員秘書(国会内)  
平成16年12月/(株)九電ビジネスフロント入社

景気・雇用対策調査特別委員会(委員長)  
新社会推進-商工委員会委員  
議会運営委員会理事  
福岡県日米友好議員連盟事務局長  
福岡県交通対策協議会委員  
民主党福岡県第2区総支部幹事  
九州電力総連組織内議員  
西南学院高等学校同窓会評議員

もりや正人事務所  
〒814-0104 福岡市城南区別府6-2-10  
TEL 092-851-3679 FAX 092-851-3670  
e-mail: macmac0621\_1965@mail.goo.ne.jp  
ホームページ <http://moriya-masato.info/>



# 9月定例県議会一般質問

今回9月議会の一般質問のトップバッターとして登壇し、下記の3項目について小川知事や教育長に質問、要望しました。議会改革に伴い、事前のすり合わせ等を排除し、質問の方法もこれまでとは違って「分割質問」となった結果、緊張のある活発な議論がなされました。今後も議会運営委員会の理事として議会改革を進めてまいります。

## 東北地方の被災地支援について

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によって被害を受けた地域への救援を迅速に行うため、震災翌日に知事を本部長とする「東北地方太平洋沖地震福岡県救援本部」を設置しました。我が県では、救援物資の輸送や県職員や県警察官、緊急消防援助隊の派遣など被災地の支援に取り組んでいます。また被災地の再建には地域経済を支える産業の復興が不可欠であります。知事からは「これまで以上に被災地農産品の販路拡大や風評被害の根絶、被災者の住宅へ支援や中小企業への金融対策等を積極的に実施していく」との発言がありました。



## 我が県の入札制度について

公共工事の入札制度で最低制限価格を設定することにより工事品質の低下、下請け業者へのしわ寄せや労働条件の悪化等が回避されるとしています。しかし、我が県では最低制限価格を事前に公表していることから最低制限価格上に複数の入札が重なり、最終的にくじ引きとなる割合が3割となっており、建設業者が適切な見積もりを行わず受注



しているとの指摘もあります。現在、我が県と他2府県のみが事前公表していますが、この理由を知事は「過去の不正や予定価格を探ろうとする動きを阻止するため」と答弁しました。

また、最低制限価格の引き上げは一定の景気対策としても有効であり、今後の引き上げについて、知事は「現状を見守っていきながら検討して行きたい」との建設的な発言をしました。我が県の入札制度については小川知事の強いリーダーシップによって改善されるように強く要望しました。

## 発達障害の支援について

発達障害は「自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など、これに類する脳機能障害であって、その症状が通常低年齢において発現するもの」としています。身近に存在するけど、十分に知られていない障害でありました。学校や職場で十分に能力を発揮して生活するには早期発見、周囲の理解を得て、療育等の支援が必要です。法改正により障害として法律上明確化されたことで発達障害に対する理解が広がり、支援の充実が図られています。

我が県では55の市町村で早期発見のために臨床心理士等による相談事業が現在実施され、教育の分野でも一貫した継続性のある支援として「発達障害児等教育継続支援事業」が行われています。今後も発達障害のある人へのきめ細やかな支援を強く要望しました。

# 樋井川の河川改修につきて

## 事業概要

事業目的	平成21年7月中国・九州北部豪雨と同規模の大雨が降っても川から溢れさせないことを目的として河床掘削を行い、流せる水の量を増やす。		
事業区間	ふれあい橋(福岡Yahoo!ドーム近辺)～駄ヶ原川合流点(城南区樋井川3丁目)	事業延長	5.9km
事業期間	平成22年度～平成26年度(予定)	事業費	約36億円
事業内容	河床掘削、護岸補強など		

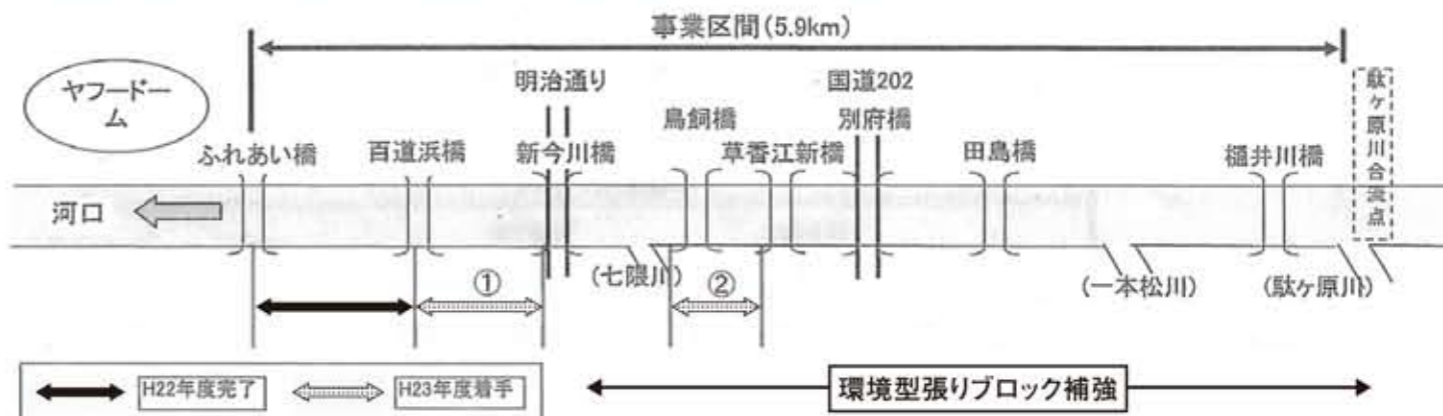
## 現在までの進捗状況

- 平成22年度から事業に着手し、現地の測量・調査を行い、改修計画を作成。
- ふれあい橋から百道浜付近の区間(全長450m)の河床掘削工事を完了。
- 事業完了までの応急的な対応として、平成22年と平成23年の梅雨時期の前に土のう設置や可能な範囲で浚渫を実施



## 平成23年度の事業概要

【予算額】10億円 【事業概要】河床掘削工事、護岸補強工事、設計など



## 城西橋上流付近～草香江新橋下流付近

道路から河川内への搬入路をつくり、河川内で河床掘削及び環境型張りブロックを用いた護岸補強を行います。

## 中華民国の視察

1972年の国交断絶後も人と物の活発な展開が続いたにも関わらず、国交がないため政治交流はもとより自治体間交流も積極的ではありませんでした。我が県はこれまで麻生前知事を団長として台湾経済ミッションが現地を訪問しましたが、今回我が会派は「市場経済と農業事情」を主に中華民国対外貿易発展協会や台湾市暴力防止センター、台湾鉄道工会、台北市議会等を視察しました。



台北市議会の議場にて